

# 第26回 石川緩和医療研究会プログラム

日時：2019年8月3日(土) 13:45～17:00

会場：石川県地場産業振興センター 本館3階 第3研修室

(〒920-8203 金沢市鞍月2丁目1番地 Tel: 076-268-2010)

\*\*\*\*\* プログラム \*\*\*\*\*

13:45～13:50 開会の挨拶 石川緩和医療研究会代表世話人 川浦 幸光 先生

13:50～14:20 教育講演 座長 公立松任石川中央病院 看護部 長田 千香 先生

## 『疼痛コントロール-私の考え方と実践』

演者 富山市立富山市民病院 緩和ケア内科 船木 康二郎 先生

休憩

14:25～15:55 一般演題・要望演題 「がんと緩和ケア」(発表6分・討論3分)  
座長 芳珠記念病院 看護局 市川 朋子 先生

1. アルコール依存症による認知機能低下の終末期患者とその家族への看護

公立松任石川中央病院 看護部 杉林 夏菜

2. 頭頸部癌と適応障害による焦燥感を持つ患者への看護を振り返る

済生会金沢病院 緩和ケア病棟 大村 環

3. 子どもに自分の病名を伝えることに悩む乳がん患者への M. Newman 理論を用いた関わり事例報告

石川県立看護大学 成人看護学 瀧澤 理穂

4. 外来化学療法患者のセルフケア状況をアセスメントする視点～皮膚障害の副作用に焦点をあてて～

金沢大学附属病院 看護部 藤野 華、石川県立看護大学 牧野 智恵、松本 智里、今方 裕子、瀧澤 理穂

座長 公立能登総合病院 石黒 要 先生

5. がん治療後に大量の強オピオイドが中止できた症例の検討

石川県立中央病院麻酔科 高橋 麗子

6. 小松市民病院緩和ケア病棟におけるボランティアとの連携

小松市民病院 看護部 野口 峰子

7. 末期がん患者に対する在宅緩和ケアチームを経験して

町立富来病院 リハビリテーション室 作業療法士 加藤 孝之

8. 在宅看取りがゴールではない

かがやきクリニック 院長 清水 雄三

9. 金沢大学医学生への緩和医療教育の紹介

金沢大学附属病院 緩和ケアセンター 山田 圭輔

休憩

16:00～17:00 特別講演 座長 公立松任石川中央病院 外科部長 石井 要 先生

## 『緩和ケアにおけるがん治療医の立ち位置：

## がん治療と緩和ケアの統合を目指して』

演者 北里大学病院集学的がん診療センター センター長 佐々木 治一郎 先生

17:00～ 閉会の挨拶 第26回当番世話人 公立松任石川中央病院 外科部長 石井 要 先生

※受付にて参加費1,000円をお支払いください。(学生無料)

※石川県薬剤師研修センター認定薬剤師研修制度研修単位シール(2単位)を申請中です。

※石川県病院薬剤師会生涯研修制度1.25単位に該当します。 ※日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師制度Ⅱ-6(0.5単位)＋Ⅲ-2(1単位)を申請中です。

共催 石川緩和医療研究会/石川県がん安心生活サポートハウス/石川県病院薬剤師会/塩野義製薬株式会社

第26回当番世話人 公立松任石川中央病院 石井 要